

新型入口ユニット機構付レベラフィーダ ” LCE06HR3 ”

[概要]

今回ご紹介するレベラフィーダは、アンコイラに搭載したコイル材をプレスに連動させてコイル材の巻ぐせを矯正し、定寸にて送る装置である。本製品は材料幅 100～600mm、板厚 1.0～6.0mm まで対応する新型入口ユニット機構付レベラフィーダとなる。

[特徴]

1. アンコイラ(写真 1 ①)に搭載したコイル材をレベラ出口側まで通板し、ループ形成までの準備作業を自動化する事により、段取り時間短縮に繋げている。
2. 材料通板をスムーズに行う為、コイルのふくらみ防止用補助コイル押さえ(写真 1 ②)を標準装備した。また、コイル材の外周を4か所(写真 1 ①～④)押さえる事で、コイル挿入時のゆるみを防ぐ。
3. 下コイル押さえ(写真 1 ③)のメカ機構である「作動アクチュエータ」を油圧からエアーにすることで省資源でメンテナンス性を向上させた製品に仕上げている。

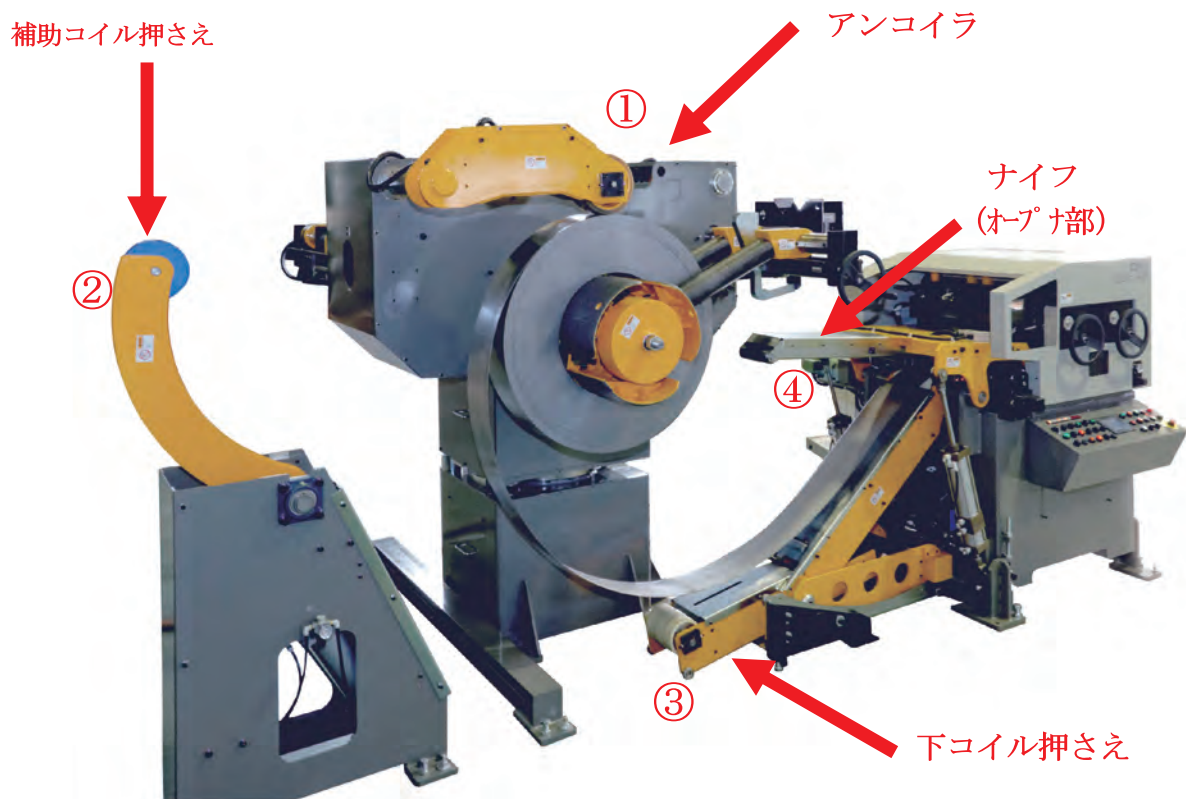


写真 1 LCE06HR3-両頭仕様 製品写真



写真2 LCE06HR3-両頭仕様 製品写真



写真3 LCE06HR3-両頭仕様 製品写真

[LCE06HR3-両頭仕様]

材 料 幅： 100 ～ 600mm

板 厚： 1.0 ～ 6.0mm

送り長さ： ～ 500mm

ライン速度： ～ 22m/min

機 械 重 量： 4,100kg

モ ー タ： 6.0kw / 16KVA (標準仕様)

寸 法： 長さ 4,273mm 幅 1,716mm 高さ 2,805mm